

# セルフモニタリング報告書（令和6年度分）

令和 7 年 4 月 30 日

施設名：市民活動センター

指定管理者名：社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会

所管課名：福祉部 総合福祉課、総合政策部 協働・男女平等参画室

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
<b>1 事業計画の達成度</b>						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	適切に管理運営を行いました。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	利用者数は、コロナ禍後、生活様式の変化や高齢化なども重なり減少していますが、和室のリニューアルなどを行い、利用者への利便性の向上に努めました。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		-	-	-	-	-
自主事業は計画どおり行われたか。	花壇づくり、テレビでの健康体操やコピー・コーヒーサービス等は予定通り実施した。 今年度より市民ギャラリーを利用して、若年層を対象に絵画展を実施しました。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	関係機関・団体と連携して花壇づくりやボランティアフェスティバルなどを開催しました。	A	B	C	D	E
<b>2. 利用者の満足度</b>						
利用者の満足が得られているか。	利用者のアンケート回答では一定の満足を得られました。	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	アンケート・御意見箱・窓口での要望の把握に努めました。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からの要望として、ピアノの設置場所を準備室から多目的ホール内に変更しました。和室についても、高齢な利用者が多いことから正座が利用しにくいと稼働率が低かったためテーブルとイスを新たに設置し、リニューアルすることで改善を行いました。経常費で対応可能なものは早急に改善しました。	A	B	C	D	E
<b>3 管理運営の効率性</b>						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	市状価格を把握し購入に努めたが、消耗品、修繕費、水道光熱費など物価高騰の影響は大きい。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	競争入札により委託費を最小限に抑えるよう努めました。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	各種団体の市民活動に影響がない範囲内で空き状況を公開し、空き室の稼働率向上を行った。併せて和室をリニューアルし、会議や打ち合わせなど少人数の利用がしやすいようにした。また、市民ギャラリーのPRも兼ねて自主事業で絵画展を実施しました。	A	B	C	D	E
<b>4 適正な管理運営</b>						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	あいサポーター研修、マナー研修など能力向上に向けた研修などに参加させた。	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	高所作業などは2名体制で行うなど安全対策し、事故防止に努めた。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	利用者の利便性を優先し配置した。	適		不適		

<p>施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。</p>	<p>条例により公平な利用の確保に努めるため、多目的ホール・市民ギャラリーの予約については、抽選を開催し、平等に利用できるようにした。</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。</p>	<p>個人情報に係る書面は、施錠して管理をし、関わりのある課の机にも必ず施錠して帰宅させた。</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。</p>	<p>四半期ごとの監事監査等及び税理士の指導により法人会計を適切に管理した。</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。</p>	<p>指定管理の保守点検業務仕様書のとおり、適切に務めた。</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>書類・備品等の管理は適正に行われているか。</p>	<p>書類については鍵付きの書庫にて管理し、使用に支障がある備品は都度、交換した。</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。</p>	<p>協定事項を遵守するとともに、法令の適正管理に向けて公益通報者保護規定を遵守した。</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p><b>5 地域貢献</b></p>						
<p>雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。</p>	<p>地元を優先し調達等行った。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

### 〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

#### 指定管理者の自己評価（全体を通して）

事業計画の内容に沿って利用者の利便性が向上できるよう、夜間・休日の受付の対応やアンケート、設備の保守点検などを実施し管理運営を行いました。

男女平等参画推進センターにおいては、令和6年1月に発生した能登半島地震を教訓にした「能登半島地震から学び考える私たちの防災～多様な視点を活かし災害対応力を強化する～」を市危機管理室や社会福祉協議会ボランティアセンターの協力を得て実施いたしました。平時に出来ないことは、災害時はなお更出来ないことを教訓に、平常時からのジェンダー平等・多様性のある地域づくりが大切であることを参加者と学び、その他のセンター事業においても、効果的な啓発になるように努めました。また、従来から行っている女性の起業を志す方などの居場所でもある月1回の「コワーキングDAY」の参加者からの要望を踏まえたセミナー及びワークショップ「コワーキング@ぶらす」を開催し、より深い見識を得られたと高評価をいただきました。そして、女性支援新法の施行とともに、若年層の相談につなげるための居場所事業「カクレガ」を開設し、これまで取り込むことができなかった世代にアプローチを掛ける事業に着手しました。

次に、登録サークルで構成するサークル協議会が、会員数の減や高齢化により、活動が難しくなっていることから、今後の方向性について検討できるように、事務局として準備して参りました。継続検討中ですが、無理のないサークル活動や活発化に向けて、支援をしていきたいと考えています。

市民活動センターにおいては、令和6年度の自主事業として、(株)百花園の協力のもと、苦小牧風花の会の会員の皆さまと一緒に花壇づくりを行いました。毎年色々な花が咲き、来館者からも「毎年、きれいだね」とお声をいただきました。ロビーでの健康体操の上映については、椅子に座って体を動かし、「待ち時間に体操しているよ」と好評をいただくことができました。また、今年度は若年層に市民活動センターを知ってもらうため、市民ギャラリーにて中高生の年代を対象に絵画展を開催し、5日間で242名の方が来場し絵画展を見て頂きました。アンケートでは、9割の方が絵画展に来て「良かった」と答えており、初回の開催ではありましたが、好評を頂くことができました。

利用者については、令和6年度106,042人（前年度R5年度111,941人、前年比94.7%）と前年と比べ減少し、収入面では4,409,245円（4,514,835円、前年比97.6%）と前年と同程度となりました。コロナ禍後、生活様式の変化や高齢化なども重なり、年々、利用人数、収入金額も減ってきております。センターの設置目的は社会福祉活動、男女平等推進活動に関連する市民活動の推進であり、収入が増えていないのが課題となっております。増収対策に限度はありますが、収入を増やすために若年層への周知や市民ギャラリーの利用を増やすなどの取組を引き続き実施して参りたいと思います。

サービス面では、昨年、導入したレジスターを使用することで、利用者への待ち時間の短縮などサービス面でも大幅に改善ができました。また、3階和室を椅子とテーブルに変更し、稼働率の向上につなげました。その他にもアンケートなどから利用者の声を反映し、多目的ホールの準備室に設置していたピアノを多目的ホールに移動し、調律の問題や移動時にぶつけることが無くなりました。また、猛暑の影響でエアコン設置の要望が多く、利用者の暑さや熱中症対策を目的に1階ホワイエのテーブル席にパラソルを設置し、貸室のブラインドが壊れた箇所については、カーテンを設置するなど環境の整備を継続しました。

設備についても、照明器具の安定器故障に関して、随時、LED照明へ交換を行って参りました。また、市に働きかけていた西側風除室の雨漏りや2階録音室のエアコン取替などの修繕を行い、市民の声から1階のバリアフリートイレに介護用ベッドを設置し、施設の安全、安定的運用を確保できました。

今後も対応が可能な範囲で最大限の環境設備に努めたいと考えております。